

令和6年度 水族館館内アンケート調査結果（1月分）

実施日：1月2日（木）～8日（月）

サンプル数：50人

入館者数：8,395人

意見、感想など

○市内

- ・ とても楽しかった。
- ・ 券売窓口での接客がとても良かった。
- ・ とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ 子供のあそびコーナーがオープンしてうれしい。
- ・ ありがとうございました。
- ・ 開館以来、年パス利用者でした。コロナ以降久しぶりに来ました。また年パス利用したいと思います。やっぱりマリンピア大好きです
- ・ 質問にいてねいに答えてくれた磯のいきもの解説のおにいさん、ありがとうございました。
- 久々に来たらタコがいなくなっていて少しかんがしかった。また見たいので、探してくださるとありがたい。また、トドの子どもが石で遊んでいたが、大丈夫ですか？

＜回答＞

タコの仲間は寿命が短いものが多く、展示に適した大きさに成長した後は長くは生きられません。また、新潟でよくとられるミスダコは、漁獲できる時期がほぼ冬季に限定されるため、一時的に展示ができない期間ができてしまうことがあります。なお、1月下旬からミスダコの展示を再開しています。

トドの子どもについてご心配くださりありがとうございます。トドは野生では石がゴロゴロある岩場に上陸し子育てをする種ですので、危険は少ないと考えています。しかし、万が一のこともありますので、スタッフが見つけた場合は、回収するようにしています。なお、プラスチック片やビニールなどがもしプールに落ちていたり、動物が遊んでいる場合には、スタッフに教えていただけるとありがたいです。

- アシカとアザラシの芸も見たいです。子イルカがジャンプできてなくて可愛かったです。

＜回答＞

当館では、イルカショーも含め、その動物の特徴などをより詳しく知っていただくことを考え「解説プログラム」を実施しています。そのため、マリンサファリでは、アシカとアザラシの違いや同じ部分などに焦点を当てて、給餌解説を行っています。
子イルカの動きについてコメントいただき、ありがとうございます。成長していくとどんどんジャンプも上手にできるようになっていきます。成長を楽しみにご覧ください。

- えとに合わせた展示があると楽しいかなと思いました。

＜回答＞

干支に合わせた展示のご提案、ありがとうございます。これまで、当館では動物の体の特徴や生態的な特徴などをお客様に見ていただくことを第一に考えており、干支にちなんだ展示を特別行っていません。
特別な展示を作ることはしなくても、いろいろなアプローチの仕方はあるかもしれませんので、今後の参考にさせていただきます。

- コロナもあり、久しぶりに来館しました。親子で楽しめました。イルカショーはまたいつかふれ合えるコーナーがあるとうれしいです。

＜回答＞

イルカショーについてのご意見、ありがとうございます。イルカショーの中でイルカにふれ合うコーナーを中止した理由は、新型コロナウイルス感染症対策もありましたが、同じ時期にカマイルカの繁殖が順調に進んだ結果、子どものイルカが増え、ショー中に自由に上陸してしまうなどの行動が見られるようになり、参加者の安全を確保することが難しいと判断したためです。当面は再開できない見通しです。
今後も、イルカショーで楽しく学んでいただくために、どのような構成が良いかを常に考えながらショーを行っています。

○県内

- ・ イルカショーがきれいだったです。

○県外

- ・ いろんないきものが見れてよかった！！
- ・ 福袋が買えるとは思わなかったので、購入できて大満足でした。魚達がたくさんで妹も楽しそうにしている私もうれしくなりました。
- ・ 楽しかったです！
- ・ 私は水族館が大好きで、今まで新江ノ島や名古屋港、アクアパーク品川など様々な水族館に行きましたが、マリンピアが一番イルカショーの満足度が高く、水そうもキレイで、展示されてある魚も多く、たのしめる水族館だと思いました。一番素晴らしい水族館だと思います。今回、トドをよーくかんさつしたのですがトドのみりよくに引きつけられました。
- ・ アオリイカの飼育をしているところが少ないのでとてもよかった！
- ・ すごくてのしかったです。
- ・ 水そうがとてもきれいだった（魚たちも）イルカショー、ペンギンの説明等、分かりやすく勉強になった。
- ・ 冬にいく所がないのでマリンピアはありがたい。
- イシガメやクサガメなど、日本にいるカメたちをカメ単体で展示していただきたいです。

<回答>

ご意見ありがとうございます。当館の展示方法として、その生きものが生息している環境をふくめて展示するようにしています。また、その環境にすむ他の生きものも一緒に展示することで、実際の自然環境をイメージしてもらいたいと考えています。そのため、現在はカメ単体での展示はしておりません。なお、ニホンイシガメは在来種で環境省や新潟県では準絶滅危惧種となっております。クサガメはかつては在来種と考えられていましたが、現在は中国大陸原産の国外外来種と考えられています。

- 久しぶりに来たらきれいになっていました。外の展示は工夫の余地があるように思いました。悪天候を活用できないか。

<回答>

冬季の悪天候という当館の立地条件を逆に活用できないか、というご提案だと思いますが、ありがとうございます。悪天候でもお客様が観覧しやすいように通路に屋根をつけるなどの対応はしていますが、展示手法として、悪天候をあえて利用するということについては、解説に少し付け加えるくらい以外これまであまりやってきていません。ご提案はとても参考になりました。今後もお客様に楽しみながら学んでいただけるように、考えていきたいと思っています。

貴重なご意見ありがとうございました。